

第6号 稲作管理特報

令和4年6月17日
朝 日 町
黒東地域農業技術者協議会

コシヒカリの生育はほぼ平年並みに推移しています。今後は、小さなヒビ割れが入るまでしっかりと中干しを行った後、「間断かん水」を実施し根の活力を高めましょう。

【コシヒカリの生育状況（みな穂管内）】

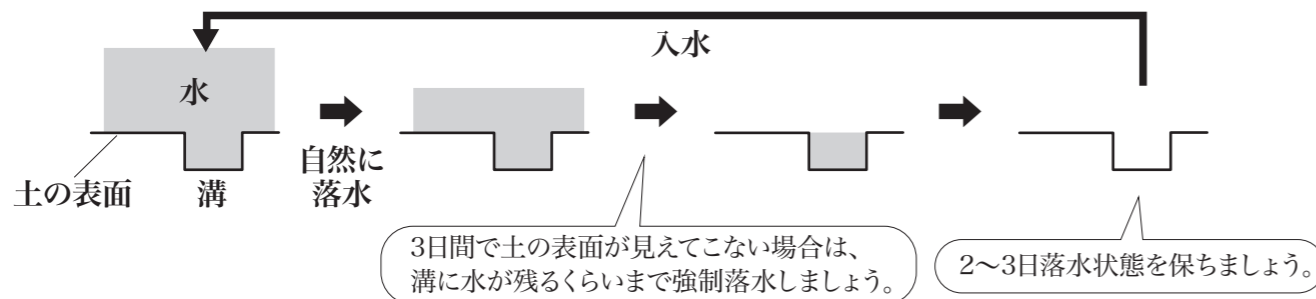
	田植日	6月7日				6月14日					
		草丈 cm	茎数		葉齢	葉色	草丈 cm	茎数		葉齢	葉色
		本/株	本/m ²						本/株		
R4	5/10	29.3	15.0	305	7.2	4.1	30.9	20.4	417	8.4	4.2
R3	5/11	27.9	9.9	211	7.0	4.1	33.1	16.8	358	8.4	4.2
平年	5/12	30.6	11.6	236	7.0	4.2	35.5	18.2	371	8.4	4.4

1 「中干し」後の水管理

○中干し後から幼穂形成期までは「間断かん水」

- ・根の発生は幼穂形成期まで急速に増えます。幼穂形成期まで湛水と落水を繰り返す「間断かん水」で土壌に酸素と水を供給して根の発達を促しましょう。
- ・幼穂形成期頃までに、足跡深さが3cm程度の硬さになるようにしましょう。

間断かん水のイメージ 湛水と落水を繰り返し、根に新鮮な水と空気を交互に供給



○幼穂形成期から出穂期までは「飽水管理」

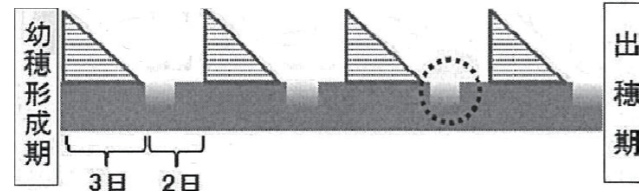
- ・常に足跡や溝に水が残るくらいの状態を保ち、根の活力と葉色の急激な低下を防止しましょう。

飽水管理のイメージ

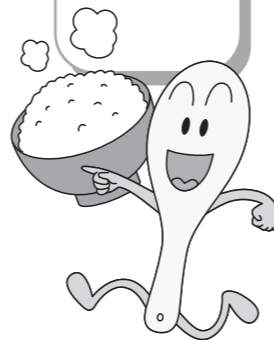
飽水管理の方法
3cm程度入水後→落水→足跡の水がなくなる前に入水（出穂始め頃まで繰り返す）



この状態になったら入水



中干し後は、間断かん水を実施し、
稲体の健全化を図りましょう！



2 後期除草剤の散布

～茎葉処理剤～

- ・ノビエや広葉雑草が残った場合は、後期除草剤を散布しましょう。散布の際には、収穫前日数に注意しましょう。

対象雑草	農薬名	成分数	散布時期	散布量 (kg/10a)
ノビエ	トドメMF1キロ粒剤 (湛水してから散布する)	1	田植後14日～ノビエ5葉期 (収穫50日前まで)	1kg
ノビエ 広葉雑草	フォローアップ1キロ粒剤 (湛水してから散布する)	2	田植後15日～ノビエ5葉期 (イネ4葉期以降) (収穫60日前まで)	1kg
広葉雑草	ハサグラン粒剤 (落水してから散布する)	1	田植後15～55日 (収穫60日前まで)	3～4kg

3 草刈りの徹底

- ・斑点カメムシ類は稲の出穂期以降に水田に侵入して斑点米の原因となることから、住みかである農道や畦畔、水田周辺の雑草地の草刈りを地域ぐるみで行いましょう。

「水田畦畔などの草刈り運動」
の実施について

運動期間 7月1日(金)～10日(日)
一斉草刈り日 7月2日(土)～3日(日)

- ・刈り取った草は、絶対に隣接ほ場や用排水路に流入しないように努めましょう。
- ・草刈りで道路を汚したら、すみやかに片付けましょう。
- ☆大麦跡田や転作田のすき込み
- ・大麦跡田などは、草刈り運動期間中に必ず耕起し、麦稈や雑草をすき込みましょう。

4 農作業時の熱中症予防チェックシート

熱中症が原因でめまいなどを起こし、重大事故につながることもあります！
下記の項目をチェックして、熱中症を予防しましょう。

- 高温時の作業は、避けましょう ☞ 特に高齢の方は、のどのかわきや気温の上昇を感じづらくなります。日中の気温の高い時間帯は外して作業しましょう。
- 単独作業は、避けましょう ☞ なるべく2人以上で作業し、時間を決めて声をかけあったり、異常がないか確認しあうようにしましょう。
- 20分おきに休憩&水分補給しましょう ☞ 涼しい日陰などで作業着を脱ぎ、体温を下げましょう。のどがかわいていなくても、20分おきに毎回コップ1～2杯以上を目安に水分補給しましょう。
- 適宜マスクをはずしましょう ☞ 屋外やハウスで人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合にはマスクをはずすようにしましょう。
- 緊急連絡先を持ち歩きましょう

★JAみな穂営農情報メールを配信しています。

主な情報
提供内容

- ・ 水稻・大麦・大豆の生育情報及び今後の管理
- ・ 気象情報と災害防止の対策

右のQRコードを読み込み、案内に沿って手続きして下さい。

